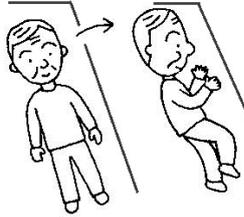
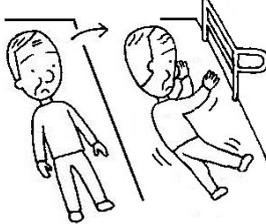
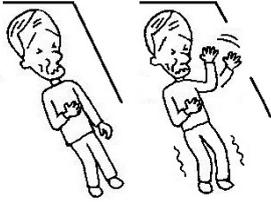
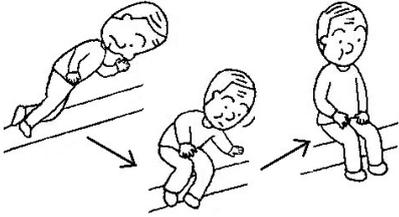
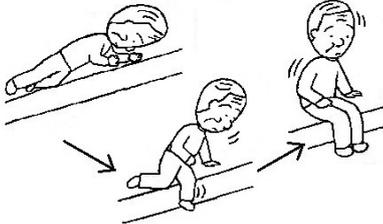
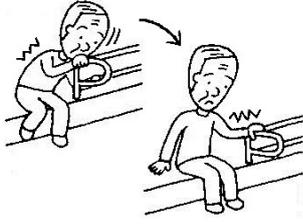
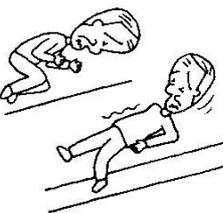


寝返り		
区分	イメージ	状態
↑ High 5	 <p>つかまらないで無理なく横向きになれる</p>	<p>上下肢の反動を利用したり、物につかまらなくても楽に側臥位になれる。毎回できる。</p>
4	 <p>つかまらないで横向きになれるができない時がある</p>	<p>上下肢の反動を利用したり、物につかまらなくても側臥位になれるが、毎回ではない。</p>
3	 <p>つかまれば横向きになれる (つかまらなると横向きになれない)</p>	<p>上下肢の反動を利用したり、物につかまれば側臥位になれる。毎回できる。</p>
2	 <p>つかまっても横向きになれない時がある。途中までなら何とかできる</p>	<p>上下肢の反動を利用したり、物につかまれば側臥位になれるが毎回ではない。 または、肩や骨盤を床から離せるが側臥位にはなれない。</p>
↓ Low 1	 <p>横向きになれない</p>	<p>動けない。 または、上下肢の反動を利用したり物につかまっても肩や骨盤を床から少し離せるだけで直ぐに仰臥位に戻る。</p>

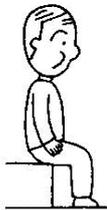
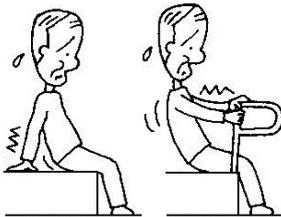
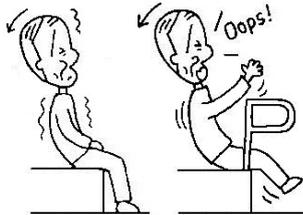
注)この動作には動作方向が2通り(左右)あります。

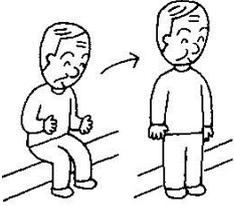
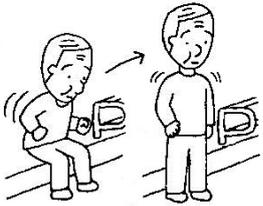
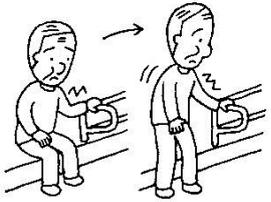
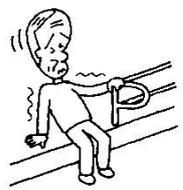
日常的に最も多く行う方向を「実用側」、それとは反対方向を「非実用側」とし、共通言語として使用して下さい。

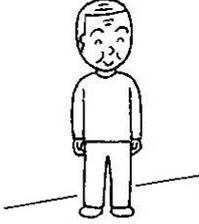
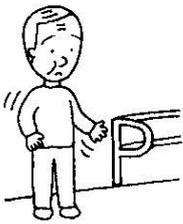
起き上がり		
区分	イメージ	状態
↑ High 5	 <p>つかまらないで横向きから無理なく起きれる</p>	<p>起き上がる反対側の上下肢での押しや引きを利用したり、物につかまらなくても楽に側臥位から起き上がり端座位になれる。 毎回できる。</p>
4	 <p>つかまらないで横向きから起きれるができない時がある</p>	<p>起き上がる反対側の上下肢での押しや引きを利用したり、物につかまらなくても側臥位から起き上がり端座位になれるが毎回はできない。</p>
3	 <p>つかまれば横向きから起きれる (つかまらなると起きれない)</p>	<p>起き上がる反対側の上下肢での押しや引きを利用したり、物につかまれば側臥位から起き上がり端座位になれる。 毎回できる。</p>
2	 <p>つかまっても横向きから起きれない時がある。途中までなら何とか起きれる</p>	<p>起き上がる反対側の上下肢での押しや引きを利用したり、物につかまれば側臥位から起き上がり端座位になれるが毎回ではない。 または、起き上がっても動作が途中で止まる。</p>
↓ Low 1	 <p>起きれない</p>	<p>動けない。 または、起き上がる反対側の上下肢での押しや引きを利用したり、物につかまっても頭部や上半身を床から少し離せるだけで起き上がれない。</p>

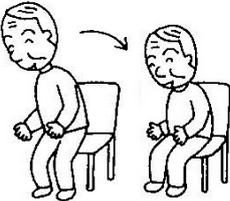
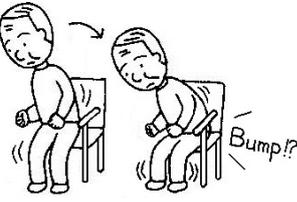
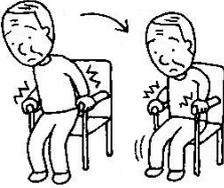
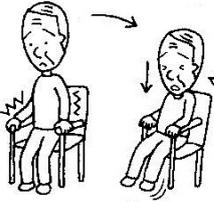
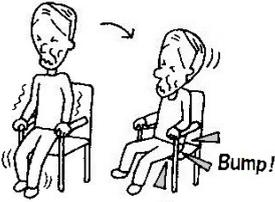
注)この動作には動作方向が2通り(左右)あります。

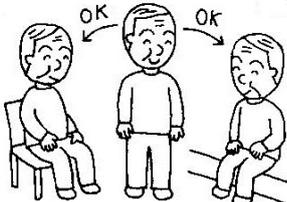
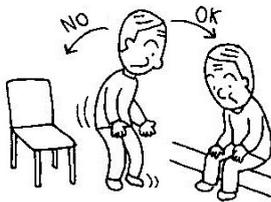
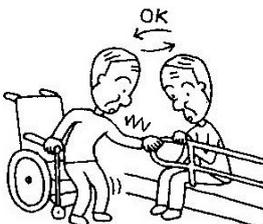
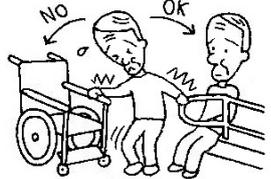
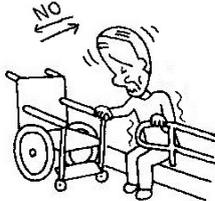
日常的に最も多く行う方向を「実用側」、それとは反対方向を「非実用側」とし、共通言語として使用して下さい。

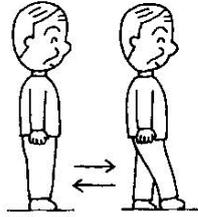
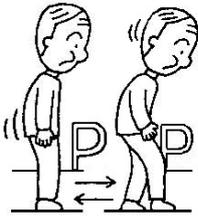
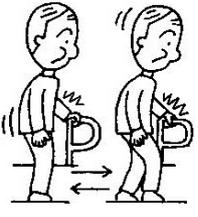
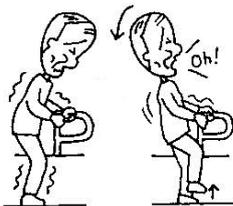
端座位保持			
	区分	イメージ	状態
↑ High	5	 <p>つかまらないで無理なく座位を保てる</p>	<p>上肢の支えや物につかまらなくても1分間程度は端座位を保持できる。毎回できる。</p>
	4	 <p>つかまらないで座位を保てるができない時がある</p>	<p>上肢の支えや物につかまらなくても1分間程度は端座位を保持できるが毎回ではない。上肢を使うこともあるが毎回ではない。</p>
	3	 <p>つかまれば座位を保てる(つかまらなると保てない)</p>	<p>上肢の支えや物につかまれば1分間程度は端座位を保持できる。毎回できる。</p>
	2	 <p>つかまっても座位を保てない時がある</p>	<p>上肢の支えや物につかまれば1分間程度は端座位を保持できるが毎回ではない。姿勢が崩れ倒れることがある。</p>
	1	 <p>座位を保てない</p>	<p>上肢の支えや物につかまっても1分間程度の端座位を保持できない。他者が姿勢を調整して一人で座ることができても「1」とする。</p>
↓ Low			

立ち上がり			
	区分	イメージ	状態
↑ High	5	<p>上肢を使わなくてもできる</p>  <p>つかまらないで無理なく立ち上がれる</p>	<p>上肢で押したり物につかまらなくても楽に立ち上がり立位になれる。毎回できる。</p>
	4	<p>上肢を使わなくてもできるが毎回ではない</p>  <p>つかまらないで立ち上がれるができない時がある</p>	<p>上肢で押したり物につかまらなくても立ち上がり立位になれるが毎回ではない。</p>
	3	<p>上肢を使うとできる</p>  <p>つかまれば立ち上がれる (つかまらないとできない)</p>	<p>上肢で押したり物につかまれば立ち上がり立位になれる。毎回できる。</p>
	2	<p>上肢を使うとできるが毎回ではない</p>  <p>つかまっても立ち上がれない時がある</p>	<p>上肢で押したり物につかまれば立ち上がり立位になれるが毎回ではない。または、上肢で押したり物につかまって立ち上がるが、動作が途中で止まる。</p>
	1	<p>できない</p>  <p>つかまっても立ち上がれない</p>	<p>上肢で押したり物につかまっても離殿できない。または、少し離殿できるが直ぐに座り込む。</p>
↓ Low			

立位保持			
	区分	イメージ	状態
↑ High	5	<p>上肢を使わなくてもできる</p>  <p>つかまらないで無理なく立位を保てる</p>	<p>物につかまらなくても10秒間程度は立位を保持できる。毎回できる。</p>
	4	<p>上肢を使わなくてもできるが毎回ではない</p>  <p>つかまらないで立位を保てるができない時がある</p>	<p>物につかまらなくても10秒間程度は立位を保持できるが毎回ではない。物につかまることもあるが毎回ではない。</p>
	3	<p>上肢を使うとできる</p>  <p>つかまれば立位を保てる(つかまらないとできない)</p>	<p>物につかまれば10秒間程度は立位を保持できる。毎回できる。</p>
	2	<p>上肢を使うとできるが毎回ではない</p>  <p>つかまっても立位を保てない時がある</p>	<p>物につかまれば10秒間程度は立位を保持できるが毎回ではない。</p>
	1	<p>できない</p>  <p>つかまっても立位を保てない</p>	<p>物につかまっても10秒間程度の立位を保持できない。</p>
↓ Low			

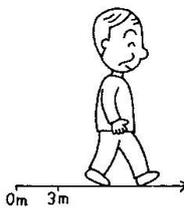
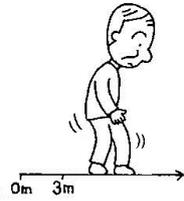
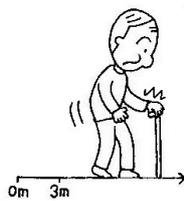
着座		
区分	イメージ	状態
↑ High 5	 <p>意識すればつかまらないで無理なく着座できる</p>	意識すれば物につかまらなくても楽に着座できる。 毎回できる。
4	 <p>つかまらないで着座できるが意識していてもドスンと座る時がある</p>	物につかまらなくても速度を調整して着座できるが毎回ではない。 意識していてもドスンと着座することがある。
3	 <p>つかまれば着座でき意識すればドスンとならない(つかまらないとできない)</p>	物につかまれば速度を調整して着座できる。 毎回できる。 意識すればドスンとならない。
2	 <p>つかまってもドスンと座る時がある</p>	物につかまれば速度を調整して着座できるが毎回ではない。 意識していてもドスンと着座することがある。
1 ↓ Low	 <p>つかまってもドスンと座る</p>	物につかまっても速度を調整できずドスンと着座する。 毎回できない。

乗リ移リ		
区分	イメージ	状態
↑ High 5	<p>上肢を使わなくてもできる</p>  <p>つかまらないで無理なく左右の方向に乗り移れる</p>	<p>どのような環境でも物につかまらず楽に乗り移れ、往復もできる。毎回できる。</p>
4	<p>上肢を使わなくてもできるが毎回ではない</p>  <p>つかまらないで乗り移れるができない時がある。一方向なら常に乗り移れる</p>	<p>どのような環境でも物につかまらず乗り移れ、往復もできるが毎回ではない。または、一方向なら乗り移ることが毎回できる。</p>
3	<p>上肢を使うとできる</p>  <p>つかまれば左右の方向に乗り移れる (つかまらないとできない)</p>	<p>どのような環境でも物につかまれば乗り移れ、往復もできる。毎回できる。</p>
2	<p>上肢を使うとできるが毎回ではない</p>  <p>つかまっても乗り移れない時がある。一方向なら常に乗り移れる</p>	<p>どのような環境でも物につかまれば乗り移れ、往復もできるが毎回ではない。または、物につかまれば一方向なら乗り移ることが毎回できる。</p>
1 ↓ Low	<p>できない</p>  <p>つかまっても乗り移れない</p>	<p>物につかまっても乗り移りができない。</p>

足の踏み返し		
区分	イメージ	状態
↑ High 5	<p>上肢を使わなくてもできる</p>  <p>つかまらないで無理なく足を踏み出して元にも戻せる</p>	物につかまらなくても片足を楽に前方へ一歩踏み出し元の位置に戻せる。毎回できる。
4	<p>上肢を使わなくてもできるが毎回ではない</p>  <p>つかまらないでできるが足を踏み出せなかったり元に戻せない時がある</p>	物につかまらなくても片足を前方へ一歩踏み出し元の位置に戻せるが、毎回ではない。
3	<p>上肢を使うとできる</p>  <p>つかまれば足を踏み出し元にも戻せる（つかまらないとできない）</p>	物につかまれば片足を前方へ一歩踏み出し元の位置に戻せる。毎回できる。
2	<p>上肢を使うとできるが毎回ではない</p>  <p>つかまれば足を踏み出せるが元に戻せない時がある</p>	物につかまれば片足を前方へ一歩踏み出し元の位置に戻せるが毎回ではない。または、物につかまれば片足を前方へ一歩踏み出せるが元には戻せない。踏み返す勢いで倒れることがある。
↓ Low 1	<p>できない</p>  <p>つかまっても足を踏み出せない</p>	物につかまっても片足を前方へ一歩踏み出すことができない。踏み出す勢いで倒れることがある。

注)この動作には動作方向が2通り(左右)あります。

日常的に最も多く行う方向を「実用側」、それとは反対方向を「非実用側」とし、共通言語として使用して下さい。

歩行		
区分	イメージ	状態
↑ High 5	<p>上肢を使わなくてもできる</p>  <p>何も使わずに無理なく歩ける</p>	<p>杖や歩行器などの道具を使わなくても3m以上歩ける。 毎回できる。</p>
4	<p>上肢を使わなくてもできるが毎回ではない</p>  <p>何も使わず3m以上歩けるが歩けない時がある</p>	<p>杖や歩行器などの道具を使わなくても3m以上歩けるが毎回ではない。 杖や歩行器などの道具を使うことがある。</p>
3	<p>上肢を使うとできる</p>  <p>何か使えば3m以上歩ける（何も使わなければ3m以上歩けない）</p>	<p>杖や歩行器などの道具を使えば3m以上歩ける。 または、平行棒では片道（約3m）以上歩ける。 毎回できる。</p>
2	<p>上肢を使うとできるが毎回ではない</p>  <p>何か使っても3m以上歩けない時がある</p>	<p>杖や歩行器などの道具を使えば3m以上歩けるが毎回ではない。 または、平行棒では片道（約3m）以上歩けるが毎回ではない。</p>
1 ↓ Low	<p>できない</p>  <p>何か使っても3m歩けない</p>	<p>歩けない。 または、平行棒では片道（約3m）を歩けない。</p>